

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第4区分
【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公開番号】特開2008-188877(P2008-188877A)
【公開日】平成20年8月21日(2008.8.21)
【年通号数】公開・登録公報2008-033
【出願番号】特願2007-25709(P2007-25709)
【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月20日(2009.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

有色の液体を媒体に吐出する第1ノズルと、
無色の液体を前記媒体に吐出する第2ノズルと、
を有する液体吐出装置であって、
前記第2ノズルを用いて形成する画像の解像度は、前記第1ノズルを用いて形成する画像の解像度よりも低い、
ことを特徴とする液体吐出装置。

【請求項2】

請求項1に記載の液体吐出装置であって、
所定方向に複数の前記第1ノズルが並んで第1ノズル列が構成され、前記所定方向に複数の前記第2ノズルが並んで第2ノズル列が構成される場合、
前記第2ノズルを用いて形成する画像の前記所定方向の解像度は、前記第1ノズルを用いて形成する画像の前記所定方向の解像度よりも低い、
液体吐出装置。

【請求項3】

請求項2に記載の液体吐出装置であって、
前記第1ノズル列は、前記第1ノズルが第1の間隔で並ぶことにより構成され、
前記第2ノズル列は、前記第2ノズルが前記第1の間隔よりも広い第2の間隔で並ぶことにより構成される、
液体吐出装置。

【請求項4】

請求項3に記載の液体吐出装置であって、
前記第2ノズルは前記第1ノズルに対して、前記第1の間隔の半分の間隔だけ、前記所定方向にずれている、
液体吐出装置。

【請求項5】

請求項1から請求項4のいずれかに記載の液体吐出装置であって、
前記第1ノズルを用いて前記媒体の表面に画像を形成し、前記第2ノズルを用いて前記媒体の裏面に画像を形成する、

液体吐出装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の液体吐出装置であって、

前記第 1 ノズルを用いて画像を形成した後に、前記媒体を反転させ、前記第 2 ノズルを用いて画像を形成する場合、

前記第 2 ノズルを用いる際の前記媒体の搬送速度は、前記第 1 ノズルを用いる際の前記搬送速度よりも速い、

液体吐出装置。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の液体吐出装置であって、

前記第 1 ノズルを用いて前記媒体に画像を形成し、前記画像の周囲に前記第 2 ノズルから前記無色の液体を吐出させる、

液体吐出装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】液体吐出装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、液体吐出装置に関する。